

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号472

発生場所	階段	精神・意識障害の有無	リスク C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
発生場所（その他）		なし	
関連したもの	段差	発生内容の分類 転倒	

発生内容

階段の一番下の段を踏み外した患者が、左橈骨遠位端骨折。

概要

病棟から、2階にある検査室、放射線室へ看護師が案内した後、患者が売店へ行きたいと希望したため、1階にある売店の場所を説明。エレベーターを使用した道案内をして看護師はその場を離れた。患者は、散歩をしようと思い、案内されたエレベーターではなく、放射線室の近くの階段を使って1階まで降りた。階段の一番下の段が他の段とは違って幅広になっていたが、気づかずに階段を降り切ったものと思い踏み外して転倒し、体を支えるために左手をついたことにより骨折した。

要因

階段は下から登る時は、一番下の段差が広いことはわかるが、おりてきた時には床面と同系色のためわかりにくい。そのため階段の端に黒と黄色のテープを貼り注意を促すようにしていたが、わかりにくかった。

対策

一番下の段に「段差注意」と表示した。

参照



文字があることで、段差がわかりやすくなりました。